

南無阿弥陀仏は
私のいのち

平成 28年
12月号

NO.
467

え
し
お

12

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobiiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



チームプレー

大学生の頃、京都の社会人草野球チームで監督兼選手をしていた。その時お世話になった方から久しぶりに電話があり、チームと所属していたリーグが今年で解散するそうである。

今振り返ると草野球を通して色々なことを教わったが、特にチームプレーの大切さを教わった。一人ひとりがそれぞれの役目を果たし、チームとなる。それは野球だけでなく、私たちは家族や仕事、もっと広くいえば日本、世界、そして人類というチームを生きているのである。

しかし普段はそのチームを意識することなく、ただ個人的に、自分さえ良ければいいと考えて生きていないだろうか。家族というチームを考えてみても、両親、お爺ちゃんお婆ちゃん、辿れば先祖がいて私がいる。その私の存在を当たり前にしているのである。

南無阿弥陀仏の教えは、無量のいのちに帰命していく道である。無量のいのち、数え切れない人びとがチームとなって、私の今を支えている。その事実^をに立ち帰れというのである。個人的に生きていると思ひ込んでいる私が、実は想像もつかないチームプレーによって支えられていた。さらに無意識にしている私たちの一挙手一投足が、実は全人類のチーム^を象^{かた}っていることを気づかされた。

(仲井 真裕 記)

歳暮法要 平成 28 年 12 月 31 日 (土)
午後 3 時 ~ 3 時 30 分 おつとめ

お念仏で明け、お念仏で暮れていく一年。今年一年も様々なことがあった中、何とか新しい年を迎えられそうであります。「わがいのち 今年もあったか 除夜の鐘」、全てのことが有り難い(あり得ない)と頂かねばならない私は、今年もダメでした。「時の流れに身をまかせ・・・」これでのいか、よい筈がない、自問自答の一年でありました。「^は恥づ可し ^{いた}傷む可し」こんな私が猛省なく、一年最後のお勤め『歳暮法要』にお参りさせて頂きます。



せいぼ しゅしょうえ
歳暮法要と修正会のご案内

修正会 平成 29 年 1 月 1 日 (日)
午前 7 時 ~ 8 時 おつとめ・法話
午前 8 時 ~ おとき
 (西徳寺会館 2 階にてお雑煮の接待)

除夜の鐘の音と共に、新しい年を迎えさせて頂きます。いくつになってもお正月を迎えるのは、心うれしいものです。「元旦や恵の中に 今日も生く」夜が明けるから陽が昇るのか、陽が昇るから夜が明けるのか?

深い無明(まどい)におおわれて、壽(いのち)そのものに気づかず、年を重ねてきた私です。無明の闇を破り、命に輝きを与えてくださる如来(仏)の光に気づかずにいる私です。そんな私にも新しい年を迎えさせて頂くご縁が与えられます。有り難いことです。もったいないことです。

「おめでとう」は、生かされて生きていることに目覚めたよろこびのことばであります。

「おめでとう」と言える私になれるために『修正会』(元旦会)にお参りさせて頂きます。

ご家族揃って、いっしょにお参り致しましょう。お待ちしております。
 (脇阪 義幸 記)

平成 29 年 (1~6 月)
西徳寺のあゆみ

(予定を変更する場合があります)

1 月

元日(日) 修正会
 8日(日) 婦人会新年会
 14日(土) 合唱団エコ練習
 21日(土) 定例法会
 22日(日) 評議員会新年会
 24日(火) 仏教青年会
 28日(土) 同行会新年会・合唱団エコ練習

2 月

5日(日) 城東ブロック会法会
 11日(土) 同行会・合唱団エコ練習
 15日(水) 婦人会法会
 18日(土) 定例法会・合唱団エコ練習

19日(日) 城南ブロック会法会
 28日(火) 仏教青年会

3 月

4日(土) 評議員会定例役員会・
 同行会修習式・合唱団エコ練習
 7日(火) 仏教青年会レクレーション
 11日(土) 定例法会・合唱団エコ練習
 12日(日) 城北ブロック会法会
 15日(水) 婦人会法会
 17日(金)~23日(木) 春季彼岸会
 22日(水) 聖徳太子奉讃会・本山差向布教・
 春季永代経法要

4 月

8日(土) 同行会総会
 15日(土) 定例法会
 16日(日) 中央ブロック会総会
 19日(水) 婦人会総会
 25日(火) 仏教青年会総会

5 月

13日(土) 同行会
 17日(水) 婦人会法会
 20日(土) 定例法会
 21日(日) 城南ブロック会総会
 23日(火) 仏教青年会
 28日(日) 城西ブロック会総会

6 月

2日(金) 評議員会定例役員会
 3日(土)・4日(日) 仏教青年会研修旅行(予定)
 10日(土) 同行会
 11日(日) 城北ブロック会総会
 17日(土) 定例法会
 18日(日) 評議員会総会
 21日(水) 婦人会法会
 25日(日) 城東ブロック会総会

親鸞さんのことば

「年比(としごろ)念仏して往生をねがうるしには、
もとあしかりしわがこころをもおもいかえて、
どもの同朋にもねんごろのこころのおわしましあわばこそ、
世をいとうするしにてもそうらわめとこそ、
おぼえそうらえ。よくよく御こころえそうらべし。」

『親鸞聖人御消息集』下

松井憲一

「どもの同朋」とは、親鸞聖人が、南無阿弥陀仏を申して生きる友達や家族を呼んだ言葉です。いつの頃から、子どもを授かるといわず、何人作る、何人持つという会話が聞かれるようになったのでしょうか。そこには、子どもが授からなければ、自分も親にはなれないという明白な事実が忘れられています。自分が人と人との関わりにおいてあることを忘れた発想は、いつの間にか大切な子どもまで私有化してしまっています。

愛情一杯で育てているといっても、子どもを私有化することは、子どもを物あつかいすることに

なります。子どもを物にあつかえば、やがて親もゴミあつかいにしてしまおうでしょう。このように、人を「人材」と見、役立つ役立たんで見るような、物と物との関係になつて非人間的なありかたは、気づいたときにドキンとして、またもとにもどってしまいます。そうした自分のおそまつな姿が、阿弥陀仏の本願に照らされて根こそぎひっくり返され、南無と頭が下がって、阿弥陀仏との出遇いにおいて開かれた関係のみが、「どもの同朋」なのです。

だから、お念仏して、一人も残さず救うという阿弥陀仏の平等の慈悲に感動された聖人は、「海や河に網を引いたり釣りをしたりして、生活を営む者も、野や山に獣類を探しだして捕えたり鳥を捕まえたりして、生き続けるものも、商売をしたり、田畑を耕作したりして、生計を立てる者も、全く同じことだ。人は心がけでどうにでもなる存在ではなく、ご縁次第でどうにでもなるのだ」(『歎異抄』意識)と、職業の平等、人間の平等、生きとし生けるもののいのちの平等を尊び喜ばれました。

さらに、聖人は、別のお手紙で、「念仏を申す人々は、その妨げをする人々を哀れみふびんに思つて、念仏を大切に称えて、妨げをする人をおたすけするのがよい」とまて古徳・法然聖人はいわれました。よくよく耳を傾けるべき言葉です(『親鸞聖人御消息集』中・意識)と法然上人に教えられたお念仏の人間関係を、確認されます。こうして「怨みつて ほんと疲れる 感謝より」なのに恨みが絶えないこと、「人許す ことで己も 救われる」事実、他を咎めんとする自分を咎めることの大切さが教えられます。

「年比(としごろ)念仏して往生をねがうるしには、もとあしかりしわがこころをもおもいかえして」と、「念仏は、旧人生を葬る墓なると共に、新人生の母である(曾我量深先生)」でありますから、念仏を称えて往生をねがってきた証は、かつての好ましからぬ自分中心のままにいるこころを思い直すところにあるといわれます。そして「どもの同朋にもねんごろのこころのおわしましあわばこそ、世をいとうするしにても、そうらわ

めとこそ、おぼえそうらえ。よくよく御こころえそうらうべし」といわれます。

往生とは、自分のみが浄土に生まれないと個人的に願うだけのことではないのです。友の同朋が、同じ南無阿弥陀仏の教えを聞き続ける家族として、ともに座り、ともに安らぎ、ともに励ましあつて生きる。この「ねんごろのこころ」をもつことに、往生人の生きる証しがあると、心すべきことを教えていただいた、聖人のお手紙です。



山門の言葉

仏の大悲心に学ぶ



日本全国に祀られている無数の仏様は、一般的には人間の苦悩を解決し、願望が叶えられることを祈願する対象として敬われている。もしくは美術品やコレクションなど、観賞用として重宝される。一口に仏様といっても多数の存在があり、それぞれに衆生を利益する独特のはたらきがあるとされる。

真宗のご本尊は阿弥陀如来であり、智慧と慈悲をもって私たちに浄土往生の道を開いてくださる。

今からおよそ二千五百年前、釈尊は人間の身体をもってインドにお生まれになった。二十九歳で出家し、三十五歳で成道すなわち覺りを開かれた。しかし、仏教とは釈尊が独白に覺られた教えではなく、釈尊以前から人々の中で息づいてきた教えであり、釈尊もまた生老病死の人生の中で目覺められた真理である。

我々は両親を縁としてこの世に生を受けた。そのはじまりは、親はもちろんのこと、国・性別・時代など、何一つ選ぶことができなかった。と同時に、老・病・死という人生そのものは、人間のはからいを超えて現実となるのは必定であり、生きとし生けるもの全てに具わっているいのちの理である。

釈尊があきらかにされた阿弥陀仏の本願を大悲心といわれるが、人間にとって不都合な出来事を解消する超能力ではなく、人生を己の理知・分別で渡り歩こうとして自らを苦悩に追い込む、自力の執心を照らし出す智慧のはたらきである。そして、どのような境遇にあっても生活を無駄にしない、存在の意義を学び続ける生活を浄土往生の道と標示し下さっている。

(木村 専正 記)

平成29年(7~12月) 西徳寺のあゆみ

(予定を変更する場合があります)

7月

- 8日(土) 同行会
- 13日(木)~16日(日) 孟蘭盆会
(10日よりお盆のお参りに伺います)
- 23日(日) 中央ブロック会閻法会
- 25日(火) 仏教青年会夏季ミーティング
- 26日(水) 婦人会閻法会

8月

- 13日(日)~16日(水) 孟蘭盆会
- 27日(日) 青年会主催バーベキュー大会

9月

- 2日(土) 評議員会定例役員会

- 9日(土) 同行会
- 12日(火) 仏教青年会
- 13日(水) 婦人会閻法会
- 16日(土) 定例閻法会
- 20日(水)~26日(火) 秋季彼岸会
- 22日(金) 秋季永代経法要

10月

- 8日(日) 城西ブロック会閻法会
- 14日(土) 同行会
- 18日(水) 婦人会閻法会
- 21日(土) 定例閻法会
- 22日(日) 城南ブロック会閻法会
- 24日(火) 仏教青年会
- 29日(日) 城東ブロック会閻法会

11月

- 4日(土)・5日(日) 報恩講
- 11日(土) 同行会

- 12日(日) 中央ブロック会閻法会
- 14日(火) 仏教青年会報恩講
- 15日(水)・16日(木) 婦人会旅行(予定)
- 19日(日) 城北ブロック会閻法会

12月

- 9日(土) 同行会
- 13日(水) 婦人会閻法会
- 16日(土) 定例閻法会・
評議員会定例役員会
- 31日(日) 歳暮法要





第326号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431

寒さがひとしお身にしみるところとなりましたが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

婦人会の担当になりまして約半年が経ちました。少しずつではありますが、会員の皆様との距離が縮まってきたような気がします。毎回聞法会では、緊張のあまり早口になったり、次の言葉が出てこずに詰まったりと、自分の未熟さを痛感しております。会員の皆様の温かい励ましの言葉に、いつも勇気づけられると共に、もっと頑張らなければと身の引き締まる思いです。これからも皆様と共にお念仏の教えを聞き開いて参りたいと思っておりますので、よろしく願い致します。

地元の行事に参加させていただくため、誠に勝手ながら、新年会の日程を変更させていただきます。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご容赦願いたいと存じます。

(蓮井 邦宗)

次回聞法会ご案内

日 時 平成28年12月21日(水) 午後1時～3時
場 所 西徳寺 星月の間
法 話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)
「世のもろびとよみなともに このみさとしを信ずべし」
最高顧問 大谷 義博
蓮井 邦宗

婦人会新年会のご案内

日 時 平成29年1月8日(日) 午前11時～午後2時
場 所 本堂(勤行・挨拶) 梅檀の間(懇親会)
会 費 2,000円
申込開始 12月6日(火)
申込締切 12月30日(金)

※婦人会新年会の日程が変更となりましたので、ご注意ください。

ひとこと

新年のお飾りに用いる“ゆずり葉”のごとく、私も新しい葉が一人前に成長するのを待つて古い葉が落ちるように、このいただいた大切ないのちを有意義に、老後の今を過ごしたく存じております。

(津久田 絹子)



掲示報

平成28年12月

- 1日(木) 午後3時・午後7時 「いのち」公演(本堂)
- 3日(土) 午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 10日(土) 午後6時 同行会「現代の聖典」に聞く
法話 脇阪住職
- 16日(金) 午後1時半 『唯信鈔』に聞く
講師 宗正元師
- 17日(土) 午後1時半 定例聞法会
- 午後3時 評議員会定例役員会
- 21日(水) 午後1時 婦人会聞法会
- 31日(土) 午後3時 歳暮法要

綺麗なお荘厳で報恩講が勤まりました!

季節外れの夏日(気温25度)になった10月26日(水)、恒例になりました、報恩講に向けての「仏具磨き」のお手伝いをいただきました。皆さんのあまりの手際よさに、いつもより作業時間が大幅に短縮され、仏具磨きは早めに終了。お磨きの後は本堂全般の掃除をしていただきました。

午前中の作業が終わり、昼食は皆さんと一緒にカレーライスをいただきました。大勢で食べる食事はまた格別なものがありました。

お陰様で「報恩講」も盛人に勤めることができました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。(木村 専正 記)

【お手伝いくださった方々】 順不同

橋 悦子 様 金子 佳子 様 柿沼 一郎 様
谷口 博一 様 小山 光子 様

中央ブロック会聞法会

去る10月30日(日)、西徳寺本堂におきまして、中央ブロック会聞法会を開催いたしました。今回は初参加3名を含む、19名の会員の方に出席していただきました。

法話の中で大谷最高顧問から、「私たちの日常は、日々起こってくる悩みや苦しみを解決することばかりで、自分が生まれてきた意義を問うことを忘れている。阿弥陀仏の本願は、そんな私を何とか救いたいと誓われた願いである。日々の生活に埋し、自分自身を見失った生き方をしている。その私が、実は阿弥陀仏の本願に救われるべき機(チャンス)であることを明らかにされたのが、七高僧に代表される念仏者の歩みである」と教えていただきました。

次回は平成29年4月16日(日)、湯島天神・梅香殿におきまして総会・聞法会を開催いたします。テーマは「龍樹菩薩 ― へ生きた教えを求めて〜」です。お誘い合わせの上、大勢の方のご参加をお待ちしております。(蓮井 邦宗 記)

えこお志お礼

新潟県 巖念寺 様 足立区 土屋 和葉 様
板橋区 江辺 康光 様 台東区 森下 幸雄 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

日誌

- 10月18日 仏教青年会 念珠試作
- 10月19日 婦人会聞法会
- 10月23日 城南ブロック会聞法会
(三茶しゃれなあど 参加者17名)
- 10月26日 仏具磨き(参加者6名)・責任役員会議
- 10月27日・28日 宗祖忌
- 10月29日 混声合唱団「エコー」練習
- 10月30日 中央ブロック会聞法会(本堂・参加者19名)
台東区合唱祭(混声合唱団「エコー」参加)
- 11月5日・6日 報恩講(両日布教使 高橋速門師)
- 11月7日・8日 中興忌
- 11月12日 社交ダンス練習会
同行会「現代の聖典」に聞く 法話 木村主任
- 11月13日 城西ブロック会聞法会
(中野商工会館 参加者10名)



編集後記

先日、ブロック聞法会で95才の大先輩にご聴聞いただきました。現在は2歳違いの奥様の介護をされながらの生活を送られ、地元で開催される聞法会を楽しみしてくださっています。

最近よく耳にする「老老介護」の現実にご苦労されておられますが、ご本人は「いろんなことはありますが、今日を生きられることに感謝しております」といわれ、愚痴の言葉などはまったく聞かれず、笑顔で語られた姿に敬服いたしました。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

<http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。
(メールでも結構です)

✉ saitokuji@ce.wakwak.com